



青森県漁業士会会報

25.3 vol.20

浜風 HAMAKAZE

発行：青森県漁業士会

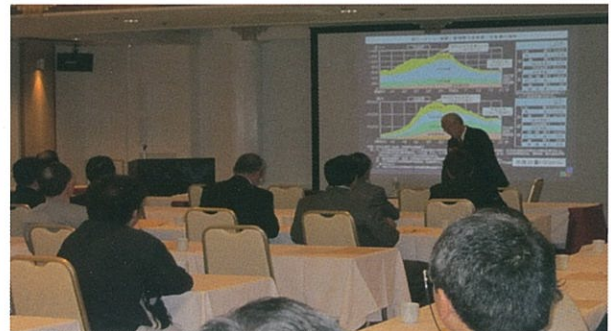
青森県水産振興課内

017-734-9592

編集：「浜風」編集委員会



平成24年度青森県漁業士会総会開催



平成24年5月18日（金）に青森市新町1丁目「アラスカ」において、青森県漁業士会通常総会が開催され、平成24年度の事業計画等について審議が行われました。また、役員改選では、八戸市南浜漁協の深川修一さんが会長に、後潟漁協の神山さんと横浜町漁協の秋田さんが副会長に、それぞれ選任されました。

総会に引続き行われた研修会では、（地独）青森県産業技術センター食品総合研究所山日達道研究専門員による「水産物の付加価値向上 ～六次産業化を中心として～」と題した講演が行われました。六次産業化の事例紹介や、青森県の農林漁業者が行う加工や流通・販売などの取組を積極的に支援する「六次産業化サポートセンター」についてご説明がありました。参加者は漁家所得の向上のためには、新商品の開発や販路開拓が必要だということあらためて認識しました。



会員の紹介

平成24年度、3名の青年漁業士が指導漁業士に移行しました。

○東青漁業士会



青森市漁協原別支所
齋藤 大
(ホタテガイ養殖)

私の家業であるホタテガイ養殖業は、二度の異常高水温により深刻な被害を受けました。

現在も綱渡り状態の日々が続いていますが、支えてくれる仲間への感謝を忘れることなく、今後は青年漁業士としての経験に加え、指導漁業士として更なる知識、技術、人脈を積極的に広げ、地元の漁業活動を盛り上げて参りたいと考えております。



後潟漁協
西谷 文昭
(ホタテガイ養殖)

このたび、指導漁業士の認定を受けました後潟漁協所属の西谷です。

ホタテガイ養殖業に従事して27年になりますが、これからも漁業士会の活動を通じて他地区との情報交換や見聞を広め、安定したホタテガイ養殖に取り組んでいきたいと考えております。

よろしく申し上げます。



赤石水産漁協

松山 和江

(底建網、採貝藻)

この度、指導漁業士の認定を受けました松山です。青年漁業士になって以降、様々な研修や、他県の女性漁業士が集まる交流会にも参加させていただき、いろいろなことを学んできました。それまでは他の地域の現状を知る機会もなかなか無かったため、漁業士になって良かったと思います。

今後も指導漁業士として各地区の漁業士との情報交換を密にし、6次産業化に取り組むことにより活力と魅力溢れる元気な漁村づくりに貢献していきたいと思っています。

皆様のご指導・ご助言、よろしくお願いいたします。

平成24年度東北・北海道ブロック漁業士研修会

青森県漁業士会長 深川 修一

今回の東北・北海道ブロック漁業士研修会は、平成25年1月16日に北海道札幌市で開催されました。青森県からは東青支部より4名、むつ支部より2名、八戸水産事務所より1名、それに私を含め計8名で参加してまいりました。研修会は次第に沿って進められ、青森県については私から青森県の漁業士会の活動と震災被害状況について発表を行いました。

震災後初めての研修会ということもあり、各県の発表内容は、震災前の活動状況の他、各地区により被害の大小はありますが震災の被害、生活の再建、漁業生産の再開、浜の復旧状況について多く報告されました。

また北海道の取組として、胆振管内と日高管内の漁業士会の交流研修会を毎年開催していることや、噴火湾ホタテガイ漁業士交流会を毎年11月に開催しホタテガイの諸問題について意見交換を行っている話題も興味深く聞きました。

研修会終了後、ロビーで「いぶり噴火湾漁協」の福島浩二組合長さん達とホタテガイの高水温被害、震災被害、今後についての具体的な懇談ができました。

交流会では北海道の漁業について、北海道庁の岡崎水産林務部長や北海道漁連の佐藤常務等と懇談ができ、たいへん有意義な研修会となりました。次回開催県の茨城県からは「ぜひ茨城県に来てください」とのメッセージが述べられ、交流会は盛会裡に終了しました。





平成24年度日本海ブロック漁業士研修会

日本海支部会 伊藤智之

8月21日、22日に秋田県男鹿市で平成24年度日本海ブロック漁業士研修会が開催され、鱒ヶ沢漁協の奈良青年漁業士とともに参加しました。

会議には、青森県から山口県までの各県の漁業士や関係者など52名が出席しました。

話題提供として、地元の秋田県から「バイ貝の標識放流と追跡調査について」、「アワビ漁場造成の取組について」、「秋田県における地魚加工の取組」などの報告があり、水産庁から「漁村地域の6次産業化について」などの話題提供がありました。

その後、各県の漁業士会の活動について報告、意見交換が行われましたが、「活動に参加するメンバーが固定化してきており、若い人たちが集まってこない」「役員改選があっても世代交代が進まない」などの悩みも出されました。

翌日の視察では、水産振興センター、漁協の加工場などを視察しました。

来年度は福井県で開催予定とのこと。

青年漁業士になって初めての研修会参加となりましたが、他県の漁業などについて知ることができて良かったと思います。



平成24年度東日本女性漁業士交流会

平成24年8月29日(水)～30日(木) 青森市浅虫温泉「椿館」において東日本女性漁業士交流会を開催しました。震災から1年半、復興も道半ばの状況にありながら本県女性漁業士11名を含む27名の女性漁業士が参加してにぎやかに開催することができました。



はじめに、青森県立保健大学の齋藤長徳先生による「若さ、美しさ、健康を求めて」と題した講演が行われ、「腹八分目、よく働き、よく寝て、よく笑う」という若さと健康の秘訣を確認しました。

引き続き行われた意見交換では、家族や船を失い、いまだにもとの暮らしに戻れずにいる様子などが発表され、一人一人の復興はまだまだ進んでいないことを実感する場面もありましたが、お互いの状況や活動の様子を直接聞くことで元気になりたいという思いが強く、活発な情報交換が行われました。





支部会トピックス

○むつ支部会

平成24年7月31日に、(地独)青森県産業技術センター下北ブランド研究所と、(独)海洋研究開発機構むつ研究所において、むつ支部会研修会を開催しました。下北ブランド研究所では、放射性物質検査室などの施設見学を行ったほか、ほたて煎餅づくりにチャレンジしました。また、むつ研究所では、海洋観測機器などを見学したほか、赤道付近での観測の状況などを説明してもらいました。研修に協力してくださった方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

また、4月から12月の3の付く日に、海の幸「3の市」を開催しました。3の市は新鮮な商品をお客様に直接販売し、また、どういう魚や乾物をお客様が求めているのかなどの意見を聞ける場でもあります。昨年は、漁が思わしくなく、十分に満足してもらえなかったと思います。今年もまた4月から「3の市」が始まりますが、新鮮でよりよい魚・海産物を提供し、工夫を凝らしたPRで、青森県の漁業に貢献していきたいと思っております。



ほたて煎餅づくりの様子

○三八漁業士会

観光地「種差海岸」の清掃

青い森信用金庫が自然保護活動として毎年実施している「種差海岸の清掃活動」が平成24年11月3日に行われ、地域に根差した活動の展開を進めている三八漁業士会では、本活動に参加することとしました。

清掃活動には、観光協会や地域住民等の団体も参加して、総勢350名での清掃活動となりました。微力ながら三八漁業士会の会員、地元の漁業者、八戸水産事務所職員やその子供たちも加わり、種差海岸の遊歩道周辺の枝打ちした木々の運搬、草刈りなどに汗を流しました。



清掃活動のおかげで、JR八戸線から海岸がきれいに見えるようになり、好評を得ているそうです。

種差海岸は現在、県立自然公園、国名称に指定されていますが、平成25年5月には三陸復興国立公園に指定される予定ですので、是非一度足を運んでみてください。

○日本海支部会

1 海浜清掃

漁業士会日本海支部会が、6月12日、鱒ヶ沢町赤石バイパス付近の海岸にて、海浜清掃を行いました。強風のなか、16名の会員と、鱒ヶ沢町産業振興課、鱒ヶ沢水産事務所職員の計20名が参加しました。集められたゴミは鱒ヶ沢町のご厚意により処分していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



2 三八支部会との交流会

9月4～5日にかけて、県内でも衛生高度化が進んでいる三沢市及び八戸市を訪問し、講習会受講と視察を行いました。また他支部との情報交換を目的に三八支部会との交流会を行いました。

まず、初日は三沢市にて「水産物荷捌き施設衛生高度化研修会（漁港漁場整備課主催）」を受講し、その後、三沢市魚市場を視察しました。



翌日は八戸市のHACCP対応型魚市場A棟とB棟を視察しました。



A棟内部



B棟外観

残念ながら3.11東日本大震災で被害を受けた施設は改修中もしくは稼働前でしたが、最新の設備をみることができました。対応してくださった三八支部会の深川会長や会員の方々、八戸市庁の方々、八戸水産事務所の方々へお礼申し上げます。

○東青漁業士会

1. ほたてキャラバン隊出前講座

平内町漁協清水川支所 八戸 翼

東青漁業士会では、平成20年度からほたて流通振興協会の依頼を受けて、小学校へ漁業士を講師として派遣してきました。平成24年度は、県内4か所、県外1か所の合計5か所で実施しました。

県内は大鰐町と弘前市、県外は、陸奥湾のホタテ養殖の基礎を築いた故山本護太郎さんの出身地、秋田県湯沢市で開催しました。

このうち、私は11月16日に弘前市立城東小学校へ行ってきました。ホタテの養殖方法を説明した後に、ホタテの調理体験を行いました。ホタテの剥き方を覚え、自分で調理し食べることから普及は始まると思いますし、他の魚種でも同じだと思います。今回の講座では、ゆるキャラのホタちゃんも参加しましたが、子供たちからの人気は絶大でした。もし来年も機会があるなら、ゆるキャラ役で参加したいです。ダンスの練習もしておかなければ……。



H24.11.16 弘前市立城東小学校 平内町漁協清水川支所 八戸 翼



H24.7.6~7.8 秋田県湯沢市院内小学校
親子料理教室
平内町漁協小湊支所 三津谷 秀子



H24.10.4 大鰐町立蔵館小学校
青森市漁協造道 斉藤 大



H24.11.8 大鰐小学校
蓬田村漁協 渡部 鉄也



H24.11.28 大鰐町立長峰小学校
野辺地町漁協 山縣 勝彦

2. 青森市市場食育祭

平成24年9月30日、青森市中央卸売市場で開催された青森市市場食育祭に出店しました。当日は会員14名が参加し、魚食普及のためベビーホタテのバター焼きとイカ焼きを販売するほか、ホタテに関するパンフレットの配布を行いました。





青森おさかな自慢情報発信事業

現状と課題

青森県の「おさかな」生産量

全国第1位 ヒラメ、ウスメバル、ヤリイカ等

第2位 サクラマス、ホタテガイ、スルメイカ、キアンコウ、シジミ等

第3位 ウニ類、コンブ類、ワカサギ等

その他 アブラツノザメ、ホッキガイ、ミスダコ、マツモ等

魚価が上がらない・・・
もっと評価されてもいいはず・・・!

〈PR不足〉 〈低い知名度〉

- ・消費者が評価する情報が少ない
- ・主産地の優位性を発揮できない

おいしい情報、
私たち漁業者だけの
とっておきの
情報があるのに!

特産水産物の観光資源化などに向けた
新たな情報発信が必要

観
光
業

つなげるキーワード

お
さ
か
な

知名度

うちく

安定供給

独自文化

これにより・・・

知名度アップによる集客

青森おさかな消費拡大

- 観光客の増加
- 観光関連産業の活性化

- 地域・水産業の活性化

相乗効果!

◇おさかな自慢エピソード

ヒラメ：

県内では35cm未満のヒラメを獲らないようにするなど資源管理に取り組んでいます。高品質な天然ヒラメが自慢です。
漁獲量は全国トップクラス！



クロマグロ：

マグロの一本釣りは、漁師とマグロがたった一本のテグス（釣り糸）で駆け引きを行う、命を賭けた真剣勝負！

県内では冬場の津軽海峡、夏場の日本海で漁獲され、全国的に非常に有名です。

ホタテガイ：

生産量は全国2位。養殖とはいっても、海水中のプランクトンをたくさん食べ、餌は与えていません。

6月18日はホタテの日！



このように漁業者だけが知っている、おさかなについてのとびっきりの情報、熱い思いをまとめて、PRします。平成25年度中に、県のホームページ、小冊子として公表する予定です。



水産行政トピックス その2

魚の放射能問題について

三八地域県民局地域農林水産部

八戸水産事務所 普及課長 長崎 勝康

福島第一原子力発電所事故の放射性物質により、青森県太平洋沖でもマダラが基準値（100ベクレル/kg）を超え、出荷制限になるなど大きな問題になりました。

放射性物質の問題については、漁業者の方からも多くの質問が寄せられており、いくつかの質問に答える形で放射能について述べたいと思います。

ベクレルとシーベルト？

放射能の話で必ず出て来る単位ですが、ベクレルとは、魚が放射線を出す強さを表します。また、シーベルトは、放射線による人への影響の大きさを示す単位です。

放射線の影響は？

放射線は細胞の遺伝子に傷を付けてしまいます。その結果、ガンになる可能性が増えます。100～200ミリシーベルトの放射線を受けるとガンになる可能性が高くなることが知られていますが、100ミリシーベルト未満での影響についてはよくわかっていないようです。一般的には年間1ミリシーベルトまでは、人には影響がないと考えられており、世界的な基準になっています。

食品中1kgあたり100ベクレル以下の基準値

今の基準は、食品1kgあたり100ベクレル以下となっていますが、これは100ベクレルの食品を毎日食べ続けた場合でも、食べ物から1年間に浴びる放射線量は1ミリシーベルトを超えないように計算された値で、世界的にみても非常に厳しい基準になっています。

大人より子供に影響が大きい？

放射線は分裂中の細胞をより多く傷つけます。大人に比べて成長中の子供は分裂中の細胞を多くもっているため、放射線からより多くのダメージを受けてしまいます。そのため、特に子供や妊婦の人に対しては注意が必要です。

これまでも食べていた？

もともと食べ物には、カリウム40や炭素14などの自然放射性物質が含まれておりカリウム40では野菜、肉、魚などに100～200ベクレル/kg程度含まれています。そのため、これまでも毎日の食事から放射性物質を取り込んでおり、体重60kgの人で7,000ベクレル程度の放射性物質を持っています。またこの放射線は放射性セシウムなどと同じように人の遺伝子を傷つけます。ある程度の遺伝子の傷は、自分で修復できるためガンになることはありません。

食物中のカリウム40の放射性物質質量（日本）

(ベクレル/キログラム)



出典：(財)原子力安全研究協会「生活環境放射線データに関する研究」(1983年)より作成

どうしてマダラだけ？

青森県太平洋沖では、平成24年6月と8月に漁獲されたマダラから基準値を超える放射性物質が確認されました。ほとんど汚染されていない青森県太平洋海域で、マダラの放射性物質が基準値を超えたのは、福島第一原子力発電所の事故現場近くの海域で高い放射性物質にさらされ汚染された魚が、青森県沖に回遊してきたために生じたものと考えられます。（独法）東北区水産研究所が行った標識放流調査では、福島県沖で放流したマダラが青森県沖で採捕されています。

いつまで続く放射能問題？

放射性物質は、放射線を出しながら少しずつ力が弱くなります。今持っている力が半分になるまでの期間のことを半減期と呼び、物質によって決まっています。事故後問題になっているヨウ素131、セシウム134、セシウム137の半減期は、ヨウ素131が8日、セシウム134が2年、セシウム137が30年です。たとえば、ヨウ素131の場合、8日後に1/2、1か月後に1/16、2か月後に1/256と減少していきます。セシウム134の半減期は2年なので、平成25年3月で事故から2年となり、事故当時に比べておよそ半分に減っていることになります。

魚の放射性物質はどうなるの？

魚に取りこまれた放射性物質は徐々に魚から排出され、汚染されていない海域では、およそ70日で半分の量に減っていきます。放射性物質に汚染されていない青森県太平洋海域では、回遊してきた魚が持っている放射性物質も70日で1/2に、140日で1/4に減っていきます。

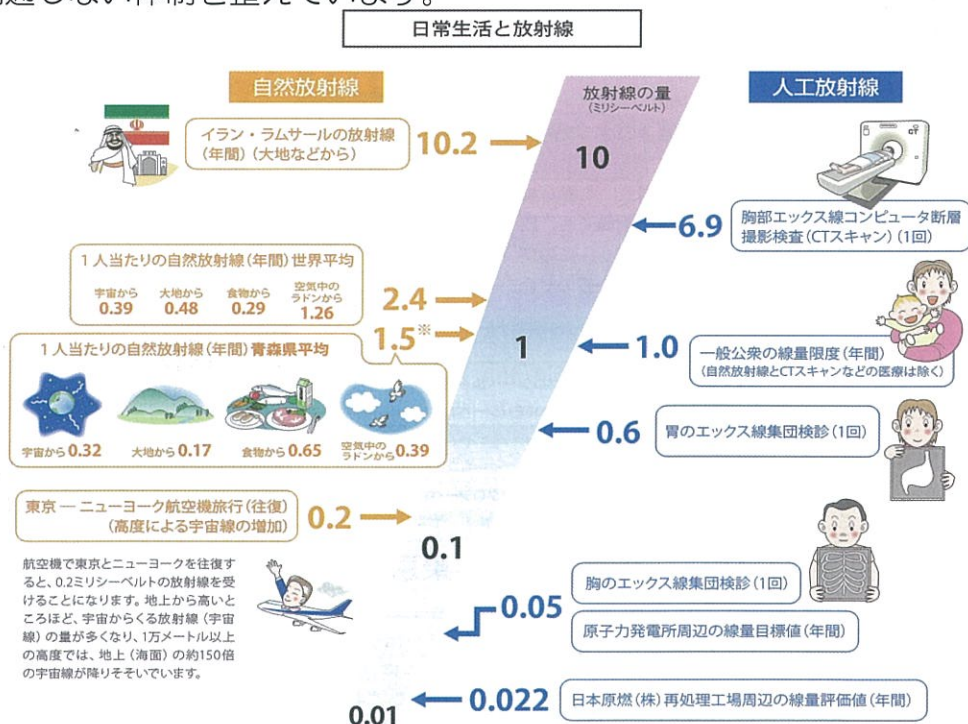
現在の検査

主な魚種については、国や県、八戸市などで定期的にモニタリング調査を行い、その結果をホームページに掲載しています。詳細な結果については県水産振興課のホームページ「水産物の放射性物質検査結果」に掲載しています。

特に八戸市場のマダラについては、万全を期すため市場で販売される前に毎朝検査を行い、基準を超えた魚が流通しない体制を整えています。



八戸市市場関係者によるマダラ検査作業



出典：(独)放射線医学総合研究所資料
1993年国連科学委員会報告書など

※青森県内の放射線量：(財)環境科学技術研究所調べ (平成4～18年)



水産行政トピックス その3

漁業後継者育成研修「賓陽塾」の紹介

地方独立行政法人青森県産業技術センター
水産総合研究所 ほたて貝部 小笠原大郎

水産総合研究所では、県からの委託により、漁業後継者を対象として漁業に関する基礎的な知識・技術の習得及び資格取得等を目的とする短期研修「賓陽塾」を実施しています。

平成19年度の事業開始から本年度で6年目となり、これまでに延べ142名が受講生として登録し、うち43名が修了しています。

これまでの研修内容として、6月～7月の2ヶ月間は通常研修として、漁業制度などの講義、ロープワークやさし網などの実習、県内の水産関連施設の視察を行っており、8月以降は選択研修として、小型船舶操縦士などの資格取得のほか、下北・日本海・三八地区の漁協等へ出向いて、ロープワーク等の漁業技術を主体とした「賓陽塾」出前講座を実施していました。

現在、平成25年度の開講に向け、準備を進めています。次年度は、新たな研修メニューを追加するほか、受講者のニーズに合わせて希望の研修科目を選択して受講できるなど、個人・団体を問わず、より受講しやすい研修となるよう考えています。

最後に、漁業に就業して間もない方や漁業技術・知識の習得に意欲を持った方がいましたら、お近くの水産事務所、普及所までご連絡をお願いします。



第54回青森県漁村青壮年女性団体 活動実績発表大会について

平成25年1月23日、青森市の県民福祉プラザで開催された「第54回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」では、5人の発表者がそれぞれの研究テーマに沿って、活動実績を発表しました。県や漁業関係者など14名の審査員によって審査が行われ、優秀賞に「AML S協議会 二本柳玲子さん」、「川内町漁業協同組合 青年漁業士 美濃部史和さん」が選ばれました。

また、平成25年2月28日～3月1日には、東京都千代田区のグランドアーク半蔵門において「第18回全国青年・女性漁業者交流大会」が開催され、「三厩村漁業協同組合 伊藤大作さん」、「AML S協議会 二本柳玲子さん」が本県代表として発表し、それぞれ全国漁業協同組合連合会会長賞を受賞しました。



第18回全国青年・女性漁業者交流大会

発表課題

- 1 下北の行動する海の女性たち ～碧い海と緑の大地を守ろう～
AMLS協議会 二本柳 玲子
- 2 マナマコの資源維持への取組 ～安定した漁獲確保のために～
野辺地町漁業協同組合 刺網・底曳・底見漁業者連絡協議会 野澤 徹
- 3 名実ともに日本一のシラウオを目指して ～資源管理・6次産業化へ向けた取組～
小川原湖漁業協同組合 船曳網部会 織笠 親作（青年漁業士）
- 4 鱒ヶ沢町漁業青年部の取組 ～再生・復活のためにふりかえる～
鱒ヶ沢漁業青年部 奈良 恒人（青年漁業士）
- 5 ナマコ資源増殖の取組 ～未永く獲るための新たなステップ～
川内町漁業協同組合 青年部 美濃部 文和（青年漁業士）

平成25年度通常総会のお知らせ

平成25年度の総会は、八戸市で開催する予定です。
総会の前後には普段なかなか見ることのできないHACC対応型魚市場の見学や講演会などを企画しています。多くの方の出席をお待ちしています。

★開催予定日時：平成25年5月18日（土）16時～
場所：八戸市内



編集後記

この「浜風」は、年1回の発行をしており、今回で20号の青森県漁業士会会報となりました。発行に至るまでに、青森県漁業士会各支部の編集委員が集まり、各支部での出来事や活動状況などを話し合い作成しました。青森県漁業士会全体での活動内容では、研修会などの行事に参加した会員方々の感想を掲載し、各支部での活動内容は支部トピックスとして掲載しました。青森県漁業士会では毎年どのような活動を行っているのかみなさんに知っていただくために、これからも発行して行きたいと思っています。

編集委員

三八支部	関野 稔 深川 修一	東青支部	八戸 翼
むつ支部	川端 昭也 秋田 正明	日本海支部	大川 昭一 今 郁行

漁業後継者育成研修

ひん

よう

じゅく

賓陽塾

【研修内容】

(1) 個人受講

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| ①水産知識 | 漁業関係法令・制度、栽培漁業・資源管理簿記・漁業経営、ホタテガイ養殖など |
| ②漁業技術 | ロープワーク(各種ロープさつま加工など)沿岸漁業実習(かご、さし網など) |
| ③視察研修 | 県内の水産関連施設 |
| ④水産加工実習 | 水産物の加工、漁獲物の鮮度保持 |
| ⑤現地漁業実習 | 定置網、イカ釣り、ホタテガイ養殖 |
| ⑥資格取得講習 | 一級・二級小型船舶操縦士、第三級海上特殊無線技士、潜水士 |



(2) 団体受講(出前講座)

個人受講①～⑥の項目から、必要な知識や技術を、地域の実情にあわせて受講。ただし下記の研修については受講の制限あり。

- ・資格取得講習(開催場所及び時期を限定)
- ・現地漁業実習(定員あり)
- ・沿岸漁業実習(開催場所及び時期を限定、定員あり)

【研修期間・主な研修場所】

(1) 個人受講

- | | | |
|---------|--------|-------------------------------|
| ①水産知識 | 6月～7月 | 水産総合研究所(平内町)または下北ブランド研究所(むつ市) |
| ②漁業技術 | 6月～7月 | 水産総合研究所(平内町)または下北ブランド研究所(むつ市) |
| ③視察研修 | 6月～7月 | 県内の水産関連施設 |
| ④水産加工実習 | 6月～2月 | 食品総合研究所(八戸市)、下北ブランド研究所(むつ市) |
| ⑤現地漁業実習 | 8月～11月 | 現地 |
| ⑥資格取得講習 | 8月～11月 | 各講習開催場所 |

(2) 団体受講(出前講座) 6月～2月 現地及び各講習開催場所



《お問い合わせ》

青森県農林水産部水産局水産振興課企画・普及グループ
地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所
東青地域県民局地域農林水産部青森地方水産業改良普及所
三八地域県民局地域農林水産部八戸水産事務所
下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所
西北地域県民局地域農林水産部鱒ヶ沢水産事務所

電話:017-734-9592
電話:017-755-2155
電話:017-756-2520
電話:0178-33-8112
電話:0175-22-8581
電話:0173-72-4300

来たれ! 青い海の漁師となるために!!